

学科 学年	S 3 C 3	科目 分類	歴 史 History	講義 必修	H. 19 通年 2単位	学習教育 目標 (A)	担当	藤井 靖士 Fujii Seiji
概 要	二年連続講義の後半。前年度の学習成果を継承し、発展させながら、今年度は主として西欧の歴史を主軸に講義するが、中国、インド、イスラム、特に日本の歴史に関しても可能な限り関連を求めて行きたい。前期は宗教改革、ルネサンスまで、後期は市民革命、産業革命を経て、帝国主義と二つの大戦に言及するが、時間の制約もあり、大局的に捉え、国際人としてふさわしい教養を身につけさせる。							
科目目標 (到達目標)	ヨーロッパ市民社会の形成発展を主軸に学習する一方、西欧以外の文化圏諸国の動向にも常に視野を向けさせ、大局的に理解させることを主目的にする。							
教科書 器材等	高校世界史 [B] 山川出版、新詳世界史図説、浜島書店 史料プリントなど							
評価の基準と 方法	定期試験 70%、授業への参加 30%として評価し、60点以上を合格とする							
関連科目	地理、古典（漢文）、英語							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回		ガイダンス・ゲルマン民族の移動						
第 2回		西ヨーロッパ封建社会						
第 3回		教皇権の隆盛と中世文化						
第 4回		十字軍と都市の発生						
第 5回		教会勢力の衰退						
第 6回		西欧諸国の動静						
第 7回	×	定期試験						
第 8回		答案返却と解説（結果次第では同時代の他国史に触れる）						
第 9回		ヨーロッパ人の対外進出						
第10回		ルネサンス						
第11回		宗教改革						
第12回		絶対主義の時代						
第13回		絶対主義諸国の動向						
第14回	×	定期試験						
第15回		答案返却と解説（結果次第では同時代の他国史に触れる）						
第16回		絶対主義時代の文化						
第17回		市民革命・イギリスとアメリカ						
第18回		産業革命						
第19回		フランス革命						
第20回		フランス革命とナポレオン戦争						
第21回		ウィーン体制とその破綻						
第22回	×	定期試験						
第23回		答案返却と解説（結果次第では同時代の他国史に触れる）						
第24回		七月革命と二月革命						
第25回		アメリカ大陸の発展						
第26回		自由主義・民主主義の発展						
第27回		帝国主義への道						
第28回		第一次世界大戦						
第29回		大戦後の世界						
第30回	×	定期試験						
オフィスアワー	金曜日を中心に必要に応じて随時、質問等に対応する							
授業アンケートへの対応	①板書事項の整理 ②質問時間の増設 ③レポート類の取り扱い							
備 考								
更新履歴	070316、新規作成							